

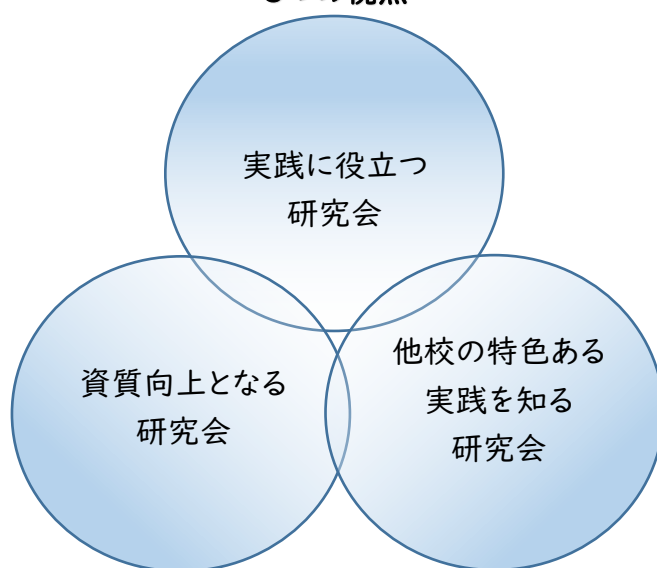
第47回福井県特別支援学校教育研究大会案内

○ 研究主題 ○

一人一人の自立を支え、生きる力をはぐくむ支援の在り方

福井県特別支援学校教育研究会

～3つの視点～



全体会 (集合型開催)

令和8年7月15日(水)

10:35～16:10

福井県立嶺南西特別支援学校

分科会 (集合型開催)

令和8年8月5日(水)

福井県立福井南特別支援学校
福井県立福井東特別支援学校
福井県立福井特別支援学校
福井県立嶺北特別支援学校

主催 福井県特別支援学校教育研究会
後援 福井県教育委員会
主管校 福井県立嶺南西特別支援学校

今年度の研究大会について

全体会:令和8年7月15日(水)集合型で公開授業と授業研究会を行います。
分科会:令和8年8月5日(水)集合型で午後を実施します。

全体会

【オンデマンド配信】 配信期間 7月1日(水)～8月31日(月)

開会式(会長挨拶、教育委員会祝辞)

全体発表(本校の研究、各学部の概要)

【集合型】公開授業・授業研究会 7月15日(水)



<https://www.reinannishi-sh.ed.jp/>

	10:00	10:35	10:50		12:25		13:50
午前の部	受付	開始式	各学部公開授業		昼食・休憩 参加者交流		
	14:00		15:10	15:20	16:00	16:10	
午後の部	各学部授業研究会		研究助言者 御講評		事務連絡 解散		

分科会

13:00 13:30

終了時刻は分科会ごとに設定

【集合型】

受付	A 分科会:福井南 B 分科会:福井東	C 分科会:福井 D 分科会:嶺北
----	------------------------	----------------------

全体会について

全体発表 オンデマンド配信

主管校テーマ

「身に付けた力や自分らしさを生かしながら主体的に学ぶ子どもの姿を目指して」
～子どもたちが主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり～

子どもたちが現在から将来にわたって豊かで充実した生活を送るために、自らの思いや願いを表し、考え、行動する姿勢と学びの習慣を育むことを目指している。エピソード記録を活用した事例検討を通して子どもの内面を見つめ、子どもたちの関心や意欲が引き出される「発現条件」を明らかにし、PDCAサイクルを回しながら授業改善を進めてきた。本大会開催に先立ち、事前配信にて、これらの取組や成果・課題について紹介する。

公開授業・授業研究会

協議の視点(*全学部共通)

- 対象児童生徒に期待する学びの姿に関する様子
- 学びが広がった・深まったと思われた場面
- 支援や学習内容、場面設定、展開に関する評価や意見
- 今後の支援(どのような支援・どのような学びの機会があるとよいか、など)

幼小小学部低学年公開授業 図画工作科「えのぐであそぼう」

幼小小学部低学年の図画工作科では、題材を繰り返す機会を設け、その中で少しずつ変化(新規性)をもたせる取組を行ってきた。活動中の児童の姿から学びの背景を読み取り、次の手立てを考え実践している。公開授業は、「えのぐであそぼう」の3回目となる。前時までの経験を生かしながら楽しく活動に取り組み、学びを深める姿を捉えたい。

協議の着眼点

- 主体性や学びを引き出す関わりや支援について
- 活動を繰り返すことにより学びの広がりや深まりが見られたか

助言者 福井県教育庁 高校教育課 特別支援教育室 主任 荒川 ひとみ 氏

小学部高学年公開授業 生活単元学習「SKキッズニア」～お仕事(うどん屋)体験をしよう～

生活単元学習「SK キッズニア」では、実際の食材を用いたお店屋さんの活動を核に、子どもたちの思いや願いを取り入れながら単元を展開してきた。公開授業では、自分の役割を意識して仕事に取り組み、教師との関わりや振り返りを通して、学びを深めていく姿を捉えたい。

協議の着眼点

- 主体性や学びを引き出す関わりや支援、学びの姿に応じた関わりや支援のあり方について

助言者 福井大学 連合教職開発科(教職大学院) 准教授 笹原 未来 氏

中学部公開授業 生活単元学習「お店を開こう」～最高のおもてなしで、お客さんを笑顔にしよう～

中学部生活単元学習「お店を開こう」では、生徒たちが主体となってお店の企画から準備、実際の運営までを行っている。公開授業では「お客さんに喜んでいただく」という目的に向けて、営業形式での接客練習とその振り返りを実施する。

協議の着眼点

- 生徒同士の関わりを繋げ、協力・連携する姿を引き出し、協働する楽しさや大切さに気付ける支援・配慮について
- 生徒が自分の学びを実感し、次への意欲や目的意識に繋がられるような振り返りの支援について

助言者 福井県特別支援教育センター 所長 岩永 英子 氏

高等部公開授業 作業学習(クリーンサービス、木工)

高等部では、生徒の自己成長を促すために、インプット・アウトプット・フィードバックを意識した授業について研究を重ねてきた。クリーンサービス班の公開授業では、話し合い活動を中心に、生徒がより具体的に自分の作業を振り返り、次時に繋がる目標を立てる活動を行う。木工班の公開授業では、生徒にとって分かりやすい振り返りの工夫をし、一人でできたことを自信に繋げたり、教師とやり取りをする中で思考を深めたりする姿を捉えたい。

協議の着眼点

- サービスに関連する作業活動があるか。どのようなねらいでどんな活動をしているか(クリーンサービス班)
- 生徒の深い学びについて、どのように考え取り組んでいるか(木工班)

助言者 福井県教育庁 嶺南教育事務所 特別支援教育課 指導主事 河端 稔 氏

分科会について

日時: 令和8年8月5日(水)

福井南特別支援学校 13:30~16:30 (13:00~受付、13:30~16:30 分科会) 終了時刻は予定
福井東特別支援学校 13:30~16:00 (13:00~受付、13:30~16:00 分科会)
福井特別支援学校 13:30~16:00 (13:00~受付、13:30~16:00 分科会)
嶺北特別支援学校 13:30~16:30 (13:00~受付、13:30~16:30 分科会)

A 分科会 福井南特別支援学校

テーマ 自分らしい生活を送るための寄宿舍での支援
～日々の取組や生活訓練室の利用を通して～

協議の着眼点 ○寄宿舍生の「自分らしさ」に寄り添った支援やかかわり方について

内容紹介 寄宿舍生一人一人のニーズや特性を踏まえ、自分らしい生活を送ることができるよう、日常生活における支援と、一人暮らしを体験できる生活訓練室を活用した生活づくりについて紹介する。グループ協議では、寄宿舍生の「自分らしさ」に寄り添った支援やかかわり方について、少人数に分かれて意見交換を行う。

助言者 社会福祉法人 足羽福祉会 あすわ相談支援事業所リアン
主任相談支援専門員 敦賀 弘道 氏

B 分科会 福井東特別支援学校

テーマ 院内学級で学ぶ子どもたちの個に応じた支援

協議の着眼点 ○入院中の児童生徒に応じた学習支援と、ICT を活用した学習保障の工夫について
○学校と医療のよりよい連携のための関わり方や、原籍校への復学を見据えた支援の進め方について
○児童生徒が安心して過ごすための、つながりの保ち方や環境整備について

内容紹介 五領分教室(福井大学医学部附属病院内)では、個々のニーズに応じた支援の在り方を検討し、入院する児童生徒が安心して過ごせるよう、日々実践を行ってきた。「学習保障」「医療との連携」「つながり」を3つの柱とし、これまで行ってきた取組について、事例を交え紹介する。グループ協議では、日頃の実践や感じている課題をもとに、意見交換や情報交換を行う。

助言者 福井大学 学術研究院教育・人文社会系部門 准教授 藤岡 徹 氏

C 分科会 福井特別支援学校

テーマ 生活の中から自尊感情を育む
～支援を通し見えてきたもの～

協議の着眼点 ○自尊感情を育むために心掛けていることや主体性を引き出すための活動について
○寄宿舎、寄宿舎指導員の役割とは何か

内容紹介 寄宿舎における「自尊感情を育む支援」の試行錯誤について実践報告を行う。何気ない日常の寄り添いや感情の共有が、どのように子どもの主体性を引き出すのか。指導員の役割を再確認しながら、日々の関わりの重要性を考察する。後半は体験型のワークを実施し、参加者自身の気づきを大切にしながら、寄宿舎ならではの教育的価値を共に深める。

助言者 福井県教育庁 高校教育課 特別支援教育室 主任 荒川 ひとみ 氏

D 分科会 嶺北特別支援学校

テーマ 子どもの思いや理解を大切にした授業づくり
～小学部低学年の遊びの指導を通して～

協議の着眼点 ○子どもの思いや、子どもがどう理解しているかを、教師はどのように読み取るか
○「合わせた指導」を行う上で大切にしていること

内容紹介 本校では、「子どもの理解や思いを大切にした授業づくり～各教科の視点を取り入れて～」をテーマに令和5年度から校内研究を行ってきた。前半は小学部低学年の「遊びの指導」について取り上げ、子どもの行動や言動からその背景にある思いや理解を推測し、授業改善を行ってきた事例を紹介する。後半はグループに分かれて、各校の取組についての情報交換を行う。

助言者 金沢大学 大学院教職実践研究科長 教授 吉川 一義 氏

大会参加申込について

- 大会参加につきましては、Google アカウントが必要になります。
 - 全体会や分科会への参加申込は、メール本文に必要事項をご記入の上、お申し込みください。
- ※ メール送信の件名には、「大会参加申込(所属名)」とお願いします。

○申込記入の必要事項

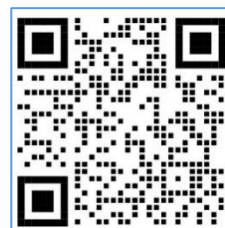
- ①氏名(フリガナ) ②所属(学校名など)
- ③所属先電話番号 ④職名
- ⑤メールアドレス(Google アカウントをご記入ください。

事務局からのメールは、このアドレスに送信します。)

⑥参加希望研究会

- 7月15日(水)全体会(①幼小小学部低学年 ②小学部高学年 ③中学部
④高等部サービス班 ⑤高等部木工班)
- 8月5日(水)分科会(A 福井南 B 福井東 C 福井 D 嶺北)

- 参加対象 県内外の教職員
- 参加費 無料
- 申込先 主管校事務局メールアドレス: tkk@reinannishi-sh.ed.jp
- 主管校(福井県立嶺南西特別支援学校)ホームページ URL
<https://www.reinannishi-sh.ed.jp>



学校HP QRコード

申込メ切 6月19日(金)

全体会参加の方へ

- 申込が確認できましたら、事務局から受付メールを送信します。
1週間経っても返信がない場合は、事務局に電話にてお問い合わせください。
- 開会式・全体発表の視聴は、この大会案内記載のリンクまたはQRコードからお願いします。
- 全体会当日の資料についてのご案内は、6月30日までにメールにて連絡します。

分科会参加の方へ

- 申込が確認できましたら、事務局から受付メールを送信します。
1週間経っても返信がない場合は、事務局に電話にてお問い合わせください。
- 事前アンケートが各分科会担当校より送付されましたら、ご協力よろしくをお願いします。
- 分科会当日の資料についてのご案内は、7月30日までに各分科会担当校からメールにて連絡します。資料は各自で印刷するなどして、ご準備ください。

欠席連絡について

申込後、やむを得ず欠席されることになった場合は、下記のとおりにご連絡ください。

- 7月末までの欠席連絡:メール tkk@reinannishi-sh.ed.jp

※所属・氏名・参加予定研究会を明記してください。

- 8月以降の欠席連絡:各分科会会場校までご連絡をお願いします。

事務局・全体会	福井県立嶺南西特別支援学校	TEL 0770-52-7716
A 分科会	福井県立福井南特別支援学校	TEL 0776-36-7631
B 分科会	福井県立福井東特別支援学校	TEL 0776-53-6575
C 分科会	福井県立福井特別支援学校	TEL 0776-24-5194
D 分科会	福井県立嶺北特別支援学校	TEL 0776-67-0100